

# 研究紀要総目次

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者		
1	1952	ベンジャミン・フランクリン研究	三辺清一郎		
		原価計算上の原価と生産費	藤岡三四治		
		定家に関する覚え書	吉田 真三		
		近世農村に於ける金融資本の侵入とその変貌について	青木 茂		
		練習効果の測定による学習適期の調査	大上 一男		
		連 (runs) の分布理論における一考察	築山 福文		
		研究と試み二題	山本 実		
		不沈澱性乳酸性飲料製造の一方法 (第一報)	山本 実		
		2	1953	吉利支丹大名と対欧交通 —大友宗麟(義鎮)について—	三ヶ尻 浩
				万葉集の「うまし」「くはし」「うつくし」「うるはし」について —万葉集の文芸感情の一環として—	野上 久人
道元に於ける存在時間の論理	高橋 賢陳				
フランクリンとフィジオクラート	三辺清一郎				
近世「山論」の経済的背景	青木 茂				
研究二題 1. マグネシウム単一結晶板面に生ずる空洞について 2. ニッケル薄膜の製法について	山本 実				
食料商品の使用価値	小河 義夫				
把持に対する外部力の効果 —言論的材料の把持に対する訂正並に材料変更の影響—	大上 一男 (帯賀)				
3	1954			フランクリンの賃銀論	三辺清一郎
				ゴッドウケン研究序説	大久保嘉三
		アダム・スミスの新問題	藤岡三四治		
		中世渡来欧洲人の日本人観および当代欧文化の影響	三ヶ尻 浩		
		道元の時間と実践 (一)	高橋 賢陳		

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		港町の系譜 (尾道市年表)	青木 茂
		関連事項を連結させる試験問題の評価に関する考察	築山 福文
4	1955	尾道方言概観	三ヶ尻 浩
		現代教師論 —技術と人格—	八木 寛
		フランクリンの奢侈論	三辺清一郎
		ゴッドウキンの研究覚書	大久保嘉三
		利潤・利益の本質	藤岡三四治
		近世港町における「論船」その背景	青木 茂
		把持に対する外部力の効果 (Ⅱ)	帯賀 一男
		物価指数ならび数量指数について	築山 福文
		Hyperion の一考察	森 清
5	1956	フランクリンの製造業論 (一)	三辺清一郎
		「コモン・センス」とゴッドウキン	大久保嘉三
		高山右近覚書	三ヶ尻 浩
		正と善	高橋 賢陳
		今昔物語ノート	吉田 真三
		微分演算子の意味を拡張することについて	築山 福文
		Keats の詩魂の展開	森 清
		決算貸借対照表の本質	宮川 喜治
6	1957	「しろたへ」と「くれなる」 —万葉集の色彩感について—	野上 久人
		キリシタン版二・三種の刊期について —使用言語の異同よりする一試論—	大塚 光信
		フランクリンの製造業論 (二)	三辺清一郎
		Capacity に就いて	大久保嘉三
		備後表の史的研究 (序章)	青木 茂
		商業計算の新理論	築山 福文

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		不滅性と回心の問題 —Keats における美と愛—	森 清
7	1958	フランクリンとプロテスタンティズム(一)	三辺清一郎
		利益処分の会計問題	富田 忠雄
		道元における現成公案の基本性格	高橋 賢陳
		中央文化の地方への伝流とその展開 —主として赤沢貞幹の「救幣医話」を中心に—	青木 茂
		コリヤード懺悔録の構成について	大塚 光信
		英米法における危険負担覚え書 —動産売買をめぐる—	木村 五郎
8	1959	初期万葉 —その抒情性について—	野上 久人
		作州津山藩における富籤興業について	青木 茂
		フランクリンとプロテスタンティズム(二)	三辺清一郎
		法人税配分論争について	富田 忠雄
		リカアドオの貿易論	有賀 定彦
		Wordsworth と自然	森 清
		財産権古史(上)	H. S.メーン 木村五郎訳
		『羅西日辞書』の日本語(一)	大塚 光信
9	1960	法人税の配分処理に関する再論	富田 忠雄
		作州津山藩における富籤興業について(下)	青木 茂
		リカアドオの比較生産費説と不均等発展の法則 —行沢教授の見解についての批判—	有賀 定彦
		微分演算子の意味を拡張することについて(II)	築山 福文
		The Odes of John Keats (1) —A Study in Development—	森 清
		国際(有体)動産売買統一法案における 危険負担および瑕疵担保責任について	木村 五郎

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		均整成長説と外部経済	櫛本 功
		『羅西日辞書』の日本語 (その二)	大塚 光信
10	1961	田辺福麻呂の歌の発想	野上 久人
		道徳教育論断章 —道徳教育の困難性とその本質—	高橋 賢陳
		近世末における藩営頼母子とその変貌	青木 茂
		国際的価値についての一考察 —国際的価値とは何か—	有賀 定彦
		子会社株式の評価	富田 忠雄
		マーシャルの正常概念について	速水 敏
		所得税と消費税との厚生判断	櫛本 功
		財産権古史 (下)	H. S. メーン 木村五郎訳
		線形空間に計量を導入することについて	築山 福文
		The Odes of John Keats (2) —A Study in Development—	森 清
		『羅西日辞書』の日本語 (その三)	大塚 光信
11	1962	地域社会の仏教受容とその政治経済的背景(上) —港町尾道を中心に—	青木 茂
		比較生産費説と国際分業 —不均等発展の法則との関連について—	有賀 定彦
		(文献紹介) K. C. ウェア「連邦政治」	高野 真澄
		連結財務諸表における会社間利益	富田 忠雄
		二項分布や多項分布に似た二三の分布について	築山 福文
		マーシャルの代表的企業	速水 敏
		『羅西日辞書』の日本語 (その四)	大塚 光信
12	1963	大伴旅人—孤老の文学	野上 久人

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		地域社会の仏教受容とその政治経済的背景(中) — 港町尾道を中心に —	青木 茂
		憲法と政党	高野 真澄
		「はしたてておよばず」再言	大塚 光信
		(資料) G. ライプホルツ 「新ドイツ憲法における国民と政党」	高野 真澄
		『羅西日辞書』の日本語 (その五)	大塚 光信
13	1964	地域社会の仏教受容とその政治経済的背景(下)の一 — 港町尾道を中心に —	青木 茂
		連邦制度研究序説 — 比較憲法的考察 —	高野 真澄
		連結差額の調整	富田 忠雄
		信用取引の発生と本質	梅田 恵三
		外国貿易と国民経済 (一)	C. P. キンドル バーガー 梅田恵三訳
14	1965	地域経済に関する計量経済モデル 差分方程式 $x_{n+1} = \frac{f(x_n)}{g(x_n)}$ の解について	有田 龍介 築山 福文
		合成函数の高次導函数について	築山 福文
		企業合同の会計 (資料)	富田 忠雄
		外国貿易と国民経済 (二)	C. P. キンドル バーガー 梅田恵三訳
15	1966	フランス憲法における代表民主制の展開	高野 真澄
		イギリスのバルト海貿易とスウェーデン、 ロシアの貿易政策との関係について (十七世紀中頃—十八世紀中頃)	比嘉 清松
		経済協力としての海外直接投資 — 主として後進国に対する国際合併企業体の現状と問題点について —	梅田 恵三
		『羅西日辞書』の日本語 (その六)	大塚 光信

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
16	1967	差分方程式 $f(x, y) = \varphi(x, y)f(x-1, y) + \psi(x, y)f(x, y-1)$ の解について	築山 福文
		一休宗純と南江宗沅 ——一休の文学的環境 その一——	中本 環
		ジロンド・ジャコバン両憲法における人民主権実現の構想	高野 真澄
		整数計画の一般化された双対価格について	吉原 龍介
		ヘンリー・ジェイムズ「貴婦人の肖像」論 ——無垢と経験——	信岡 巽
		(資料)A. W. ジョンストン フランスにおけるアメリカの直接投資	梅田 恵三
		(資料)中世末におけるドイツ＝ハンザのロシア貿易 ——P. Johansen の研究によせて——	比嘉 清松
17	1968	《論 文》	
		フランス憲法における《Loi Organique》についての覚え書き	高野 真澄
		分解原理と分権的管理	吉原 龍介
		西部方言における「先生が、来テジャ(ダ、ヤ)」 などの「テ敬語法」について	岡田 統夫
		T. E. ヒューム研究(その一) ——思想とその現代的意味——	信岡 巽
		《書評》	
		小林規威著『日本の合弁会社』	梅田 恵三
18	1969	《論 文》	
		フランスの議長 ——第5共和制憲法における議会制構造の一考察——	高野 真澄
		国際合弁企業体の概念に関する一考察	梅田 恵三
		The Decomposition Algorithm for Large-Scale “Bi-Angular” Linear Programs	吉原 龍介
		労働市場の構造的変化と労務管理の展開	作谷猛二郎

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		「あはれがる」と「あはれぶ」	亀山 泰紀
		女子青年の性知識	帯賀 一男
		T. E. ヒューム研究 (その二) —思想とその現代的意味—	信岡 巽
		《資料紹介》	
		尾藤二洲の書翰 (その一)	頼 祺一
19	1970	《論 文》	
		海外投資と日本の合弁会社	梅田 恵三
		中世の浦について	黒川 正宏
		Non-Linear Decomposition Programming and Decentralized System Optimization	吉原 龍介
		統治行為論の批判的考察 (その一)	小倉 正恒
		堺本「枕草子」覚え書	亀山 泰紀
		「T. E. Hulme の詩」の解釈について —人間 Hulme の一断面—	信岡 巽
		《資料紹介》	
		日米労使関係の比較研究—ホワイトヒル・ 武沢信一共著“The Other Worker”をめぐって—	作谷猛二郎
		T. S. エリオットとフランス —批評家エリオット—	エドワード・J. H. グリーン著 森 清訳
20	1971	《論 文》	
		大伴家持—その憂愁—	野上 久人
		「風」—素材史研究—	亀山 泰紀
		合弁事業方式によるわが国企業進出の現状と課題	梅田 恵三
		線型計画の分割アルゴリズム	吉原 龍介
		労使協議制についての—考察	作谷猛二郎



集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		統治行為論の批判的考察 (その二)	小倉 正恒
		「一フランス人のキーツ観」 —仏訳「キーツ詩集」の序文をめぐって—	森 清
		Graham Greene 小説論 (1) —序説：悪の意識の源を探って—	信岡 巽
21	1972	《論 文》	
		「応答」連文表現における音声敬語法	江端 義夫
		ディラン・トマスの詩に関する覚書 (1) —主題をめぐって—	森 清
		Decentralized Planning Procedure for Water Quality Management	吉原 龍介
		多国籍企業の研究 (1) —その発生と1914年までの特徴—	梅田 恵三
		労働福祉と労使関係 (その一)	作谷猛二郎
		統治行為論の批判的考察 (その三)	小倉 正恒
22	1973	《論 文》	
		日本の在外合弁会社の進むべき道	梅田 恵三
		古典文学作品の「文法読み」 —理論的思考の国語教育—	江端 義夫
		ディラン・トマスの詩に関する覚書 (2) —象徴をめぐって—	森 清
		Graham Greene 小説論 (2) —信仰と作家： The Heart of the Matter に関連して—	信岡 巽
		ライブニッツ「理由律」に関して	和佐谷維昭
23	1974	《論 文》	
		歌徳説話論序説	森山 茂
		「楚囚之詩」論—北村透谷研究ノート—	坂根 俊英

集(巻)次	発行年号	題 名	発 表 者
		所有形態よりみた在外日本企業の実態	梅田 恵三
		権威受容説と伝達の論理的関連 —バーナード学説を中心として—	前原 雅文
		インフレーションと「インフレ圧力」 —Roy Harrod の提言への一つの付加—	森 映雄
		経済政策論の新しい課題 (1) —政策意志形成過程論の一考察—	長屋 泰昭
		「価値論」(その一)	和佐谷維昭
		統治行為論の批判的考察 (その四)	小倉 正恒
		Stirling 数を拡張して得られる関数について 《資 料》	築山 福文
		ディラン・トマスの言語と表現—統語法をめぐって—	森 清
		Graham Greene, The Collected Edition の Introduction から	信岡 巽
24	1975	《論 文》	
		国連有識者グループ勧告を読んで	梅田 恵三
		組織における権威問題 —サイモンの理論を中心として—	前原 雅文
		経済政策論の新しい課題 (2) —政策意志形成過程分析の主要方向—	長屋 泰昭
		レギュレーション Q とその問題点	森 映雄
		「価値論」(その二)	和佐谷維昭
		歌徳説話の伝承について—歌徳説話論その一—	森山 茂
		萩原朔太郎覚え書—大正4年の書簡を中心に—	坂根 俊英
		研究ノート・公共財と計画の経済理論 (1) 《資 料》	吉原 龍介
		「引当金」の現況	富田 忠雄

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
25	1976	《論 文》	
		実質現金残高効果についての一考	森 映雄
		マルクス主義の唯物史観と階級社会観 —マルクス主義の国家観の基礎—	長屋 泰昭
		経済社会の多元化と民主政治	大西 康雄
		東欧における合併企業—その特徴と問題点—	梅田 恵三
		責任と権威—バーナードを中心として—	前原 雅文
		Stirling 数を拡張して得られる関数について II	築山 福文
		「価値論」(その三)	和佐谷維昭
		歌徳説話の和歌について—歌徳説話論その二—	森山 茂
		許六俳論の展開(上)—「噂」から「虚実」へ—	浜 森太郎
		「月に吠える」論—天上志向と地下沈潜—	坂根 俊英
26	1977	《論 文》	
		内部貨幣経済における実質現金残高効果についての一考	森 映雄
		マルクス主義の国家観と政策意志形成 —マルクスとエンゲルスの所説を中心として—	長屋 泰昭
		多元社会における職務委員と民主政治 —J.メスナーの議論を巡って—	大西 康雄
		わが国にみる進出外資と撤退外資の動向 —特に自由化スケジュール完了時の現況に視点を置いて—	梅田 恵三
		リーダーシップの本質	前原 雅文
		研究ノート・近世村落における家格に関する一考察	勝矢 倫生
		Hermite 多項式を拡張して得られる関数について	築山 福文
		歌徳の種々相—歌徳説話論その三—	森山 茂
		許六俳論の展開(中)—許六と支考との争点—	浜 森太郎
		椎名麟三論ノート—「赤い孤独者」を中心に—	坂根 俊英

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
27	1978	《論 文》	
		国立公園における過剰利用の社会的費用	吉原 龍介
		内部貨幣経済における実質現金残高効果についての一考(2)	森 映雄
		経済政策の「担い手」の概念と構造の学説史的検討 —最近の西ドイツの経済政策論を中心として—	長屋 泰昭
		J. N. フィッギスの多元社会論	大西 康雄
		ユーゴー型合弁事業と外資の反応	梅田 恵三
		バーナード理論の基本問題	前原 雅文
		本学女子学生の体格・体力・運動能力に関する一考察(1)	平松 携
		研究ノート：文学と信仰 —Martin Turnell <i>Modern Literature and Christian Faith</i> を中心に(1)	信岡 巽
		道綱の母—思いやりの限界—	亀山 泰紀
		説話において和歌が動機となった事柄について	森山 茂
		「蝶を夢む」論—朔太郎研究ノート—	坂根 俊英
28	1979	《論 文》	
		所得変化と貯蓄率	森 映雄
		経済政策の概念、諸局面および「担い手」について —経済政策の「担い手」の学説史的検討の総括—	長屋 泰昭
		自由主義と多元社会 —G. プリーフスの所説を基礎にして—	大西 康雄
		東欧にみる産業協力と合併企業	梅田 恵三
		バーナード理論の基礎	前原 雅文
		広島藩における林野政策に関する基礎的考察(1) —林野支配に関する職制と林野利用の状況把握を通して—	勝矢 倫生
		オランダにおける大規模会社の経営管理機構 —ツウーティア・ボード制度における監査役会を中心にして—	三室 堯磨
		価値判断と言語	和佐谷維昭

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		農村のコミュニティスポーツに関する事例研究	平松 携
		女郎花物語の変遷(2) — 写本・板本両系統 における説話編集の相違について —	森山 茂
		「日本語表現法」覚え書き — 自己紹介文を通して —	亀山 泰紀
		「春と修羅」覚え書き	坂根 俊英
29	1980	《論 文》	
		最近の高年齢勤労者の貯蓄行動	森 映雄
		地域主義「地域」概念の考察	園田猛二郎
		経営における支配問題	前原 雅文
		コミュニティスポーツの振興に関して — 西ドイツの市民スポーツの現状を通して —	平松 携
		和歌説話の評語(1) — 宇治拾遺物語・十訓抄 ・古今著聞集・沙石集の場合 —	森山 茂
		萩原朔太郎研究ノート — 「性」を中心に —	坂根 俊英
		平仮名古文書に使用されたる和訓表記の漢字 — 平安時代・院政時代 —	村田 正英
		《判例研究》	
		庭の日照利益に関する判例研究	小倉 正恒
		《書 評》	
		Edward R. Tufte, <i>Political Control of the Economy.</i>	長屋 泰昭
30-1	1981	《研 究》	
		ポスト・ケインズ派短期分析に関する一考察 — パシネットの多部門成長モデルを中心として —	松岡 憲司
		広島藩における農政に関する基礎的考察(2) — 「芸備郡要集」にみる享和期農政の動向 —	勝矢 倫生
		経済的関心、政治行動および経済政策 — 経済政策形成過程論の一つの理論的枠組みについて —	長屋 泰昭

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		多元社会の諸問題—G.ブリーフスの所説に基づく1つの覚え書き—	大西 康雄
		中外合資経営企業法と日本の対応	梅田 恵三
		官僚制の本質	前原 雅文
		共同代表取締役制度についての—考察— —代表権行使の委任の可否について—	三室 堯磨
		価値判断の客観化へのアプローチ —岩崎武雄教授『倫理学』を中心に—	和佐谷維昭
		G. Greene: <i>The Power and the Glory</i> の主題—罪と愛—	信岡 巽
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅱ) —都市住民のスポーツ施設利用と満足度に関する研究—	平松 携
		萩原朔太郎研究ノート(続)—「氷島」について—	坂根 俊英
		和歌説話の評語(2)—古本説話集・世継物語 ・今物語・古野拾遺・東斎随筆の場合—	森山 茂
30-2	1981	《研 究》	
		「日照権」形成過程に関する—考察	小倉 正恒
		経済政策形成過程論の意義について	長屋 泰昭
		シビル・ミニマムと地域の課題	園田猛二郎
		合弁関係法にみる対中国投資環境と課題	梅田 恵三
		オリンピックにおける政治介入とナショナリズムに関する考察	平松 携
		田畑修一郎覚え書—大正13年から昭和11年まで—	坂根 俊英
		和歌説話の評語(3)—今昔物語集の場合—	森山 茂
		《研究ノート》	
		企業集団の生成と成果	松岡 憲司
31-1	1982	《研 究》	
		T. E. Hulme の古典主義と原罪の問題	信岡 巽

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		近世農政思想に関する一考察—「秘話独言」に みる文政末期における広島藩農政の動態—	勝矢 倫生
		組織における官僚制の問題	前原 雅文
		在外合弁企業の撤退	梅田 恵三
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅲ) —広島県のスポーツ行政施策を通して—	平松 携
		マルクス主義における自由の問題 —「搾取からの自由」と「権力からの自由」—	和佐谷維昭
		近代文学における東北方言 〈書 評〉	坂根 俊英
		Jerome W. Van Gorkom <i>Social Security Revisited</i>	大西 康雄
31-2	1982	《研 究》	
		産業別多様化の動態的計測	松岡 憲司
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅳ) —尾道市民のスポーツ行動の現状と課題—	平松 携
		Eine experimentale Arbeit über visuelles Verhalten in sozialen Interaktionen. —Blickkontakt in einer Zweierbeziehung, der beeinflusst wird durch Interaktionsdistanz und Bedürfnisse nach Affiliation—	福原 省三
		ことばと韻律について—日本詩定型論異見—	寺杣 雅人
		萩原朔太郎研究—「ノート」の分析—	坂根 俊英
32-1	1983	《研 究》	
		享和期における広島藩諸郡の経済事情 —「芸備郡要集」の分析を中心として—	勝矢 倫生
		経済形成の自由の可能性について —W.パーロウの所説を中心として—	長屋 泰昭
		アメリカ社会保障制度の成立について	大西 康雄

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		発展途上国からの海外企業進出の特徴	梅田 恵三
		日本の経営論の批判的考察(1)	前原 雅文
		コミュニティスポーツの振興に関して(V) —スポーツ指導者の目標と住民の意識差—	平松 携
		中野重治論ノート—詩を中心に—	坂根 俊英
		今昔物語集における女性の描き方について —所謂、本朝世俗部を対象とする考察—	森山 茂

32-2 1983 《研究》

今日の住宅問題—第四期住宅建設五ヵ年計画  
中間年にあたって—

佐藤 滋正

道徳教育における一つの問題

和佐谷維昭

G. Greene, *The Basement Room* 試論—H. James,  
*The Turn of the Screw* の一変体として—

信岡 巽

続・中野重治論ノート

坂根 俊英

本歌取り俳諧の流行とその周辺

松永 宗二

《研究ノート》

企業集団系企業と非企業集団系企業の間  
における多様化度の比較

松岡 憲司

《書 評》

Mark V. Pauly (ed.) *National Health Insurance:  
What Now, What Later, What Never?*

大西 康雄

33-1 1984 《研究》

日本の経営論の批判的考察(2)

前原 雅文

コミュニティスポーツの振興に関して(VI)  
—スポーツ指導者の指導行動と満足度に関する研究—

平松 携

日本詩韻律論の方法  
—韻律をめぐる作者と読者の関係について—

寺杣 雅人



集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		中野重治論ノート (3)	坂根 俊英
		説話文学における女訓について (1)	森山 茂
		《書 評》	
		Carolyn L. Weaver <i>The Crisis in Social Security, Economic and Political Origins.</i> Duke University Press Durham. 1982 250 pp.	大西 康雄
33-2	1984	《研 究》	
		マルクス主義における善悪	和佐谷維昭
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅶ) —高齢者のスポーツ行動に関する考察—	平松 携
		萩原朔太郎「愛憐詩篇」論	坂根 俊英
		《文献紹介》	
		Streithofen, Heinrich Basilius/Voss, Rüdiger von (hrsg.), <i>Goetz Briefs Ausgewählte Schriften, Erster Band : Mensch und Gesellschaft/Zweiter Band : Wirtschaftsordnung und Sozialpartnerschaft</i>	大西 康雄
34-1	1985	《研 究》	
		西国街道海田宿における休泊施設の経営構造 —農民負担との関連を中心にして—	勝矢 倫生
		On Compact Cartan and Maximal Compact Subgroups of $SL_2$ Over a Local Field	刈山 和俊
		萩原朔太郎「愛憐詩篇」論 (二)	坂根 俊英
		《研究ノート》	
		ボールディングの組織革命 —その本質・要因をめぐって—	大西 康雄
34-2	1985	《研 究》	
		日本的経営論の批判的考察 (3)	前原 雅文

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅷ) —高齢者のゲートボール参加に関する社会学的研究—	平松 携
		Joseph Conrad <i>Heart of Darkness</i> (『闇の奥』) を読む 『感情』論ノート—『抒情小曲集』と朔太郎の詩— 《研究ノート》	信岡 巽 坂根 俊英
		余暇 (レジャー) の概念について	大西 康雄
35-1	1986	《研 究》	
		多元社会の不安定性—G.ブリーフスの所説を基礎にして— 労働と倫理 (一)	大西 康雄 和佐谷維昭
		『月に吠える』ノート—実存意識と詩精神— 《研究ノート》	坂根 俊英
		“Le Travail” 誌上のワルラス	中久保邦夫
35-2	1986	《研 究》	
		レオン・ワルラスの「科学的社会主義」 労働と倫理 (二)	中久保邦夫 和佐谷維昭
		非言語的行動の表出機能と伝達機能に関する研究 萩原朔太郎『青猫』ノート	福原 省三 坂根 俊英
36-1	1987	《研 究》	
		広島藩における伝馬役負担の構造と展開 —西国街道海田宿の事例を中心に—	勝矢 倫生
		コミュニティスポーツの振興に関して(Ⅸ) —3市(福山・因島・三次市)における高齢者の スポーツ行動の違いに関する研究—	平松 携
		萩原朔太郎のアフォーリズムについて	坂根 俊英
		女郎花物語の変遷(3)—写本・板本両系統 における教訓的評語の相違について—	森山 茂

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
36-2	1987	《研 究》	
		R. A.ニスベットの多元社会論 —「共同体の希求」をめぐって—	大西 康雄
		平安朝和歌のリズム —単独母音を含む非字余り句からの考察—	寺杣 雅人
		林芙美子論ノート (一)	坂根 俊英
37-1	1988	《研 究》	
		「司法審査の限界」に関する一考察 —「事件性」と憲法判断回避について—	小倉 正恒
		シナジェティクスと社会科学	菅 準一
		生命倫理の問題点と課題 (一)	和佐谷維昭
		広島藩における宿駅経営の負担構造 —西国街道海田宿の場合—	勝矢 倫生
		林芙美子論ノート (二)	坂根 俊英
37-2	1988	《研 究》	
		絶対地代の問題圏 —マルクス「差額地代表」の検討を通して—	佐藤 滋正
		情緒二要因説の実験的検討	福原 省三
		『図書寮本寶物集』における和語表記の漢字	村田 正英
		林芙美子論ノート (三) —詩について—	坂根 俊英
		《資 料》	
		母音からみた平安朝和歌の律構造〈資料編〉	寺杣 雅人
38-1	1989	《研 究》	
		直物・先物為替相場決定のメカニズムと金融・財政政策の効果	柳原 幹雄
		日本的経営の組織論的分析	前原 雅文
		The Complex Fate of Henry James — with special reference to his moral sense —	信岡 巽

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		八木重吉論ノート	坂根 俊英
38-2	1989	《研 究》	
		多元社会のインフレーション —ゲッツ・ブリーフスの所説を基礎にして—	大西 秀典
		精神分裂病者における対人距離と視線の分析	福原 省三
		歩行における心拍数の変動	平松 携
		価値哲学の試み—序論(上)—	和佐谷維昭
		野間宏論ノート—「真空地帯」を中心に—	坂根 俊英
39-1	1990	《研 究》	
		構造としての個人	菅 準一
		輸入偽ブランド品対策の経済学的分析	吉原 龍介
		Galois Cohomology of Algebraic Tori Split over Cyclic Extensions	刈山 和俊
		会計基準設定過程における利害抗争といわ ゆる「会計の政治化」	石川 雅之
		情報化技術並びにソフトウェア工学におけ る標準化諸問題の一考察 —ME技術革新時代の標準化の役割と課題—	田中 宏
		ライフスタイルと歩行に関する事例研究 —万歩計による測定から—	平松 携
		中野重治論ノート(六) 《研究ノート》	坂根 俊英
		マルクス「絶対地代論」についての覚書き	佐藤 滋正
39-2	1990	《研 究》	
		広島藩における土免制の構造と展開	勝矢 倫生
		社会的学習ネットワーク	菅 準一

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		アルコール依存症の症例報告 I — 家族力動を中心とした治療経過 —	福原 省三
		価値哲学の試み — 序論 (中) —	和佐谷維昭
		西脇順三郎ノート—シュールレアリスムとの関係について—	坂根 俊英
40-1	1991	《研 究》	
		会計基準設定論の混乱要因 — 忠実表示主義と経済的帰結主義の意義 —	石川 雅之
		A Study on Motivation and Oral Proficiency in English	高垣 俊之
		続・西脇順三郎ノート — シュールレアリスムとの関係について —	坂根 俊英
		《資 料》	
		尾道地域商業の現状と課題	稲福 善男
		研究紀要総目次 (第30集 1号—第39集 2号)	
40-2	1991	《研 究》	
		地域経済の発展と商業機能の課題 〈尾道小売商業の現状と課題〉	稲福 善男
		Management Decision Support Systems Utilizing Patent Information	住田 璋治
		ジュニアスポーツの競技力向上における研究 — 高校生の目標レベルから —	平松 携
41-1	1992	《研 究》	
		意味システムの自己組織プロセス—(1)—	菅 準一
		Harrod 動学と企業の主体均衡	難波 安彦
		会計規制と規制緩和	石川 雅之
		地域経済の発展と商業機能の課題〈Ⅱ. 尾 道観光と商業機能の推進のための準備〉	稲福 善男
		On Discontinuing Students of College EFL	高垣 俊之

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		広島県下の江田島他14島の歩行に関する調査研究—一万歩計による測定から—	平松 携
		医の倫理における多義性について	和佐谷維昭
		リズムにおける流れとよどみ —拍節群化の二重性について—	寺柚 雅人
		《書 評》	
		里見賢治著『日本の社会保障をどう読むか』	大西 秀典
41-2	1992	《研 究》	
		近代経済学の再検討—システム論的アプローチ—	菅 準一
		まちづくりと地域活性化 —摂津市商業近代化事業の推進を事例として—	稲福 善男
		富士山登山中のエネルギー消費量とエネルギー代謝率について	平松 携
		価値についての説明の試み	和佐谷維昭
		《研究ノート》	
		T. H. Hulme とイマジスト運動覚書	信岡 巽
		《翻 訳》	
		M. H. ベスト 「日本の企業家的企業」	佐藤 滋正
		《書 評》	
		Wells, N/Freer. C. (ed.), <i>The Ageing Population : Burden or Challenge?</i>	大西 秀典
42-1	1993	《研 究》	
		近世地方書の論理構造—「芸州政基」における享保末期広島藩農政論の再考察—	勝矢 倫生
		意味システムの自己組織プロセス—(2)—	菅 準一
		会計方針の選択と会計基準	石川 雅之

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		地域産業構造の形成と特質 (Ⅲ. 尾道産業構造の特質と課題)	稲福 善男
		On a Reference Model of English Pronunciation in Japan	高垣 俊之
		四国霊場88カ所の歩行に関する調査研究	平松 携
		高齢者の保健・福祉に関する研究Ⅰ—高齢者の生活実態と福祉施策に関する調査—	福原 省三
		五音句のリズム—その規範と逸脱— 《研究ノート》	寺杣 雅人
		世界経済の三極圏化論について	園田猛二郎
42-2	1933	《研 究》	
		近世地方書における継承と成熟(1)—賀美永蔵著「農制随筆」にみる宝暦期広島藩農政の動向—	勝矢 倫生
		明治末期から昭和初期の商業における長時間労働問題	福森 徹
		八ヶ岳縦走のエネルギー消費量について	平松 携
		高齢者の保健・福祉に関する心理学的研究Ⅱ —保健・福祉に対する意識調査の分析—	福原 省三
		横光利一「笑われた子」論—〈内面の光り〉と〈面〉の意味—	寺杣 雅人
		《資 料》	
		T. E. Hulme と H. ベルグソン	信岡 巽
43-1	1994	《研 究》	
		近世地方書における継承と成熟(2)—賀美永蔵著「農制随筆」にみる宝暦期広島藩農政の動向—	勝矢 倫生
		経済学の教育・研究における記号処理ソフト利用の一事例について	菅 準一
		高齢者の保健・福祉に関する心理学的研究Ⅲ —尾道市高齢者保健・福祉計画の一試案—	福原 省三
		言語と価値(その一)	和佐谷維昭

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		横光利一「笑われた子」の主題(上) —「面」における〈面〉からの考察—	寺 杣 雅人
43-2	1994	《研 究》	
		高齢社会政策論序説	大西 秀典
		Character Formula for Cuspidal Unramified Series Representations of the Multiplicative Group of Division Algebras over Local Fields	刈山 和俊
		リカードウ地代論の語句修正をめぐる スラッフアの解釈について	佐藤 滋正
		経済学の教育・研究における記号処理ソフト 利用の一事例について(2)	菅 準一
		On Communicating in English for Japanese	高垣 俊之
		高齢鍛錬者の傾斜歩行時における生理的反 応の特性について	平松 携
		《資 料》	
		T. E. Hulme と現代批評	信岡 巽
44-1	1995	《研 究》	
		南北間での知的所有権問題に関する一考察	河野 洋
		経済学の教育・研究における記号処理ソフト 利用の一事例について(3)	菅 準一
		A Preliminary Study on Self-monitoring of Beginning Japanese ESL Learners	高垣 俊之
		アイ・カメラによる視線移動の追跡研究 —眼球運動と性格との関係について—	福原 省三
		《翻 訳》	
		絶対者の従者—T. E. ヒュームの政治哲学の研究— フランス、W.ネルソン著	信岡 巽訳



集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
44-2	1995	《研 究》	
		人口高齢化について	大西 秀典
		文化後期広島藩における財政政策の位相 —頼杏坪の意見書を起点として—	勝矢 倫生
		アダム・スミスの「租税論」について	佐藤 滋正
		C. S. Peirce のプラグマティズムとその思想 の経営学における意義	阿部 香
		言語と価値 (その二)	和佐谷維昭
		倉田百三論ノート—心のたたかい—	坂根 俊英
		横光利一「笑われた子」の主題 (中) —基本的コントラストからの考察—	寺杣 雅人
		《翻 訳》	
		デイクソン・ウェクター著「ヒュームと悲劇的見解」	信岡 巽訳
45-1	1996	《研 究》	
		Mathematica で経済学	菅 準一
		会計基準と企業会計原則	石川 雅之
		横光利一「笑われた子」の主題 (下) —改題および改稿からの考察—	寺杣 雅人
		《翻 訳》	
		M. H. ベスト「第三イタリー」	佐藤 滋正
45-2	1996	創立50周年記念特集	
		《研 究》	
		T. E. Hulme と T. S. Eliot	信岡 巽
		ポスト金利自由化の競争政策 —独占禁止法の運用強化—	吉原 龍介
		統計から見た日本の海外直接投資の特徴	梅田 恵三
地方自治行政の情報公開に関する公法学的考察	小倉 正恒		

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		変革期に直面した品質保証と標準化の新しい視点と課題 —今求められる品質経営とグローバルスタンダード—	田中 宏
		アメリカの高齢者サービス	大西 秀典
		リカードウの「輸出奨励金論」 —「原理」第22章「輸出奨励金と輸入禁止」覚書き—	佐藤 滋正
		状況とネットワーク—フォレット管理論の基礎—	阿部 香
		経営における政治システムの問題	前原 雅文
		偏極した ${}^7\text{Li}$ をターゲットにした $(\pi^+, \pi^+p)$ 反応における $\Delta$ 粒子—原子核のスピン・ 軌道結合力の効果について	高木 卓司
		中年鍛錬者のエベレスト・トレッキングに おける心拍反応について	平松 携
		個人空間の測定と対人間における空間の意味	福原 省三
		露を知らない女を盗み出した男—伊勢物語六段の世界—	亀山 泰紀
		高橋虫麻呂の方法—浦島子を詠む歌の論—	松田 芳昭
		柿本朝臣人麻呂の歌四首	野上 久人
<hr/>			
46-1	1997	《研 究》	
		広島県東部地域の企業者意識 —最近の雇用情勢をめぐるアンケート調査より—	佐藤 滋正
		会計基準の動向	石川 雅之
		A Mini-study of Topic Effect on Composing in L1 and L2	高垣 俊之
		低酸素環境下における中年鍛錬者の循環応答の関係	平松 携
<hr/>			
46-2	1997	《研 究》	
		一庄屋経験者の近世徴租制批判—松浦唯次郎述 「淡交夜話」にみる藩政末期広島藩徴租法の実相—	勝矢 倫生
		Filtrations on Parahoric Subgroups of $p$ -adic Classical Groups	刈山 和俊
		経済学のためのフーリエ変換入門	菅 準一

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		合併新株の自社割り当てによる自己株式の取得と売却	石川 雅之
47-1	1998	《研 究》	
		公的介護保険制度が経済に与える影響	荒井 貴史
		ヘルマン・ヘラーと法実証主義の距離	溝淵 裕
		コラボレーションとチームワーク	阿部 香
		トライアングル体制と企業会計原則 企業会計原則の法的拘束力に関連して	石川 雅之
		原子核—原子核反応解析結果の VRML による視覚化	大塚 登
		中年者の高所トレッキングにおける生理反応について	平松 携
		横光利一「蠅」の成立—新出異同の推移から—	寺袖 雅人
		風と文学—王朝和歌の世界— (その1)	亀山 泰紀
47-2	1998	《研 究》	
		少子・高齢化問題の現状	荒井 貴史
		C. Dölken の科学方法論 —カトリック社会論と新自由主義の両立の可能性—	安藤 康士
		インフレーションと経済成長 —Cash-in-Advance 制約と生産性上昇の複合的効果について—	河野 洋
		チームコラボレーションについて —場における相互認知行為の解明—	阿部 香
		Coordinate Space Method for Hadronic Atoms	高木 卓司
		尾道市民の体格・体力に関する研究 —中・高齢者を対象に—	平松 携 刈山 和俊
		「人の死」は実在するか	和佐谷 維昭
48-1	1999	《研 究》	
		高齢化社会における郵便貯金	荒井 貴史
		CES 型効用関数の下でのインフレーション の加速と資本蓄積	河野 洋

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		リカードウの「植民地貿易論」 —「原理」第25章「植民地貿易について」覚書き—	佐藤 滋正
		経済データ分析入門	菅 準一
		グローバル経済下の企業会計	石川 雅之
		多変数連続関数の最適化問題の数値解法 —遺伝的アルゴリズムと準ニュートン法のハイブリッド法—	大塚 登
		コンピュータ基礎教育の一試み —GUI操作と返換過程表示機能に基づく基数変換プログラムの利用—	藤田 幸史
		経営におけるウェーバー的問題	前原 雅文
		価値哲学(序章)—日常生活に即して(その1)—	和佐谷維昭
		横光利一「赤い着物」の本文 —その変容と系統—	寺杣 雅人
		風と文学 —王朝和歌の世界— (その2)	亀山 泰紀
48-2	1999	《研 究》	
		公共財の最適供給について	荒井 貴史
		中国地域の産業構造変化に関する一考察 —接続地域産業連関表を用いた近畿地域との比較分析—	安藤 康士
		Shopping Cost modelでの貨幣と資本蓄積	河野 洋
		集団創造性の発揮とリーダーシップ	阿部 香
		経営における責任の問題	前原 雅文
		歩行による健康づくりプログラムの事例研究(1) —10年間の歩行実践から—	平松 携
		教科主義教育と知の再構成	和佐谷維昭
48-3	1999	《研 究》	
		尾道市の将来推計人口	荒井 貴史
		中国地域の輸出入構造についての一考察 —接続産業連関表を用いた近畿地域との比較分析—	安藤 康士

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		インフレーションと経済厚生	河野 洋
		ゲーム理論入門—Mathematica の応用—	菅 準一
		実践的ウェブレット紹介	大塚 登
		価値哲学(序章)—日常生活に即して(その2)—	和佐谷維昭
		『俊頼髓脳』と『奥義抄』との相違 —共通する事項の検討を通して—	森山 茂
		風と文学—王朝和歌の世界— (その三)	亀山 泰紀
48-4	1999	《研 究》	
		尾道市の将来推計人口1999	荒井 貴史
		中国地域の移出入構造に関する一考察 —接続産業連関表を用いた近畿地域との比較分析—	安藤 康士
		ローマー型内生的成長モデルでの 政府支出のファイナンスについて	河野 洋
		政策的配慮による行政の会計への介入	石川 雅之
		歩行による健康づくりプログラムの事例研究(2) —中国地方の歩行数から—	平松 携
49-1	2000	《研 究》	
		法人課税と投資	荒井 貴史
		情報および不確実性の経済分析	菅 準一
		現代社会とバーナード理論	前原 雅文
		セルフ・コントロール方略が計画の立案と実行に及ぼす影響	塚本 真紀
49-2	2000	《研 究》	
		人口高齢化が経済に与える影響	荒井 貴史
		最終需要の中国地域経済に与える影響についての一考察 —接続産業連関表を用いた近畿地域との比較分析—	安藤 康士
		貨幣的成長モデルにおける取引コストの役割について	河野 洋
		リカードウ『原理』における「再生産」概念	佐藤 滋正

集(巻)次	発行年号	題 名	発表者
		同値マーチンゲール測度について	菅 準一
		簡易ウィンドウシステム移植によるマルチプラットフォーム用Cプログラミング環境の構築	藤田 幸史
		歩行による健康づくりプログラムの事例研究(3) —登山の歩行数から—	平松 携
終巻号	2001	終巻号記念特集	
		《研 究》	
		尾道短期大学における感性工学研究	石原 茂和
		歩行による健康づくりプログラムの事例研究 —エベレスト・トレッキングの歩行数から—	平松 携
		判例にみる行為規則の条件および「自己」の再構成について —価値論的視点から—	和佐谷維昭
		《研究紀要総目次》	